

平成 29 年度 事業報告書

第 52 期

〔	自	平成 29 年 4 月 1 日	〕
	至	平成 30 年 3 月 31 日	

第52期 事業報告書

概況

2017年の世界経済は、米国のトランプ政権の誕生により米国景気が拡大するのではとの期待感が強まるスタートとなった。アメリカ経済は、輸出の拡大や企業の活発な投資活動により、景気は着実な回復が続き、12月の失業率は2001年以来となる低水準となっている。トランプ大統領は「アメリカ第一主義」を掲げ、法人税率を引き下げる税制改革法案を成立させているが、掲げた公約をどう現実化するかの手腕が求められており、結果如何では世界経済への影響も懸念される。中国も各種政策効果もあり、景気は持ち直しの動きが続いており、また、ユーロ圏でも景気は緩やかに回復しているなど、世界全体が緩やかに回復していると言える。

一方、日本経済は、企業の設備投資や好調な輸出に支えられ、緩やかな回復基調が続いており、2012年12月から続く景気回復期間は、昨年9月に戦後2位のいざなぎ景気を超えた。昨年10月～12月四半期の実質GDPもプラス成長となり、8期連続のプラス成長が続いており、昨年12月の月例経済報告で「景気は緩やかな回復基調が続いている。」とあった基調判断は、今年1月からは「景気は緩やかに回復している。」へと変更され、3月も同様の表現となっている。

このような中、平成29年度の国内の登録車及び軽自動車の新車の総販売台数は、前年度比2.8%増の5,197,050台となり、2年度連続で500万台を超えた。このうち、登録車は、3,338,234台、軽自動車については8.1%増加したものの1,858,793台と3年連続で200万台割れとなった。

一方、平成29年度の中古車市場は、登録車が前年度比101.1%の3,826,342台、また、軽自動車は前年度比102.4%の3,066,568台と微増となり、1年振りに300万台に回復した。

このような状況の下、当協会としては、自動車販売業界における中古車部門の重要性が高まる中、消費者に信頼される中古車査定制度の普及・浸透を主目的に諸事業を展開した。

販売店で利用されている中古自動車査定基準については、環境の変化に対応し適宜見直しを行っている。その結果について、全国各支所での研修会、講習会といった機会を活用し、周知徹底に努めているところである。

査定制度の充実、普及のためには、販売店における中古自動車査定士の資格取得者の増加を図ることが重要であることから、毎年2回の中古自動車査定士技能検定試験を実施している。平成29年度についても、6月、12月に実施したが、申請者は14,058名、

前年比 5.2% 下回った。最近における自動車販売店の統廃合や社員の減少という環境もあるが登録査定士は平成 30 年 3 月末現在 135,094 名となり、前年と比べ 840 名増加した。これら査定士が、消費者の信頼を得る査定を行うための査定技能における基礎知識の徹底を目指すため、教材『初めての査定』及び『大型車の査定』を作成した。

販売店、信託会社等からの依頼により当協会職員が行う査定については、35,484 台で前年比 101.6% とほぼ横ばいとなった。また、消費者・ユーザーから依頼され、修復歴の有無について確認する車両状態確認証明事業は、6,064 台で前年比 107.0% と増加した。

オークション出品車両の事前検査事業の検査台数は 69,165 台と前年同期比 89.6% と減少した。

また、商品中古車の確認証明申請台数は 169,174 台、前年比 106.5% と増加した。

中古車輸出検査事業については、スリランカ、モーリシャス、タンザニア、バングラデシュなどを中心に、12,914 台と前年比 167.3% となった。スリランカは、政策変更の影響を受けており昨年と比べ大幅増加傾向である。なお、多くの民間企業がこの分野にも進出していることや、東アフリカで輸出検査を義務付けている対象国が国際入札を実施していることもあり、今後当協会として対応の難しさが更に増すものと思われる。

このような中、協会の主要業務に成長した車両状態証明事業についても、検査台数が 99,339 台と前年比 121.3% と増加した。

また、現在提供しているカーチェックシートの Web 版システム「カーチェックス」については、5 メーカーで基幹システムと連動するシステムを構築し、メーカー主導で展開を図っており、来期にはもう 1 社の連携が決定している。全ての新車販売店での同システム導入の可能性が出てきており、今後とも協会主導により展開を図って行きたい。

当協会が発行する中古車に関連する参考書としての査定ガイド、価格情報誌であるイエローブック、シルバークック等の各種ガイドブックは、自動車販売関連企業の統廃合、社員の減少、経費の節減等から販売環境は厳しく、販売部数は減少しているが、参考資料として引き続き高い評価を得ている。世の中が紙媒体から電子媒体へ移行するなか、当協会の電子メディア「JAAI-Net」を通じて我が国で販売されている全ての自動車に関する型式・装備内容等の情報を提供しているが、平成 29 年度においても、迅速な情報の提供と内容の充実を図るとともに利用者の利便性も図っている。

平成 29 年度の当協会事業については、各種事業を積極的に推進し、事業の合理化、経費の節減等に努めたところであるが、厳しい経済環境等もあり、非収益事業は大幅赤字、収益事業は黒字、全体としては黒字の決算となった。

主要事業内容

1. 査定制度の普及、定着を目指す事業の推進

(1) 中古自動車査定士技能検定試験の年2回実施

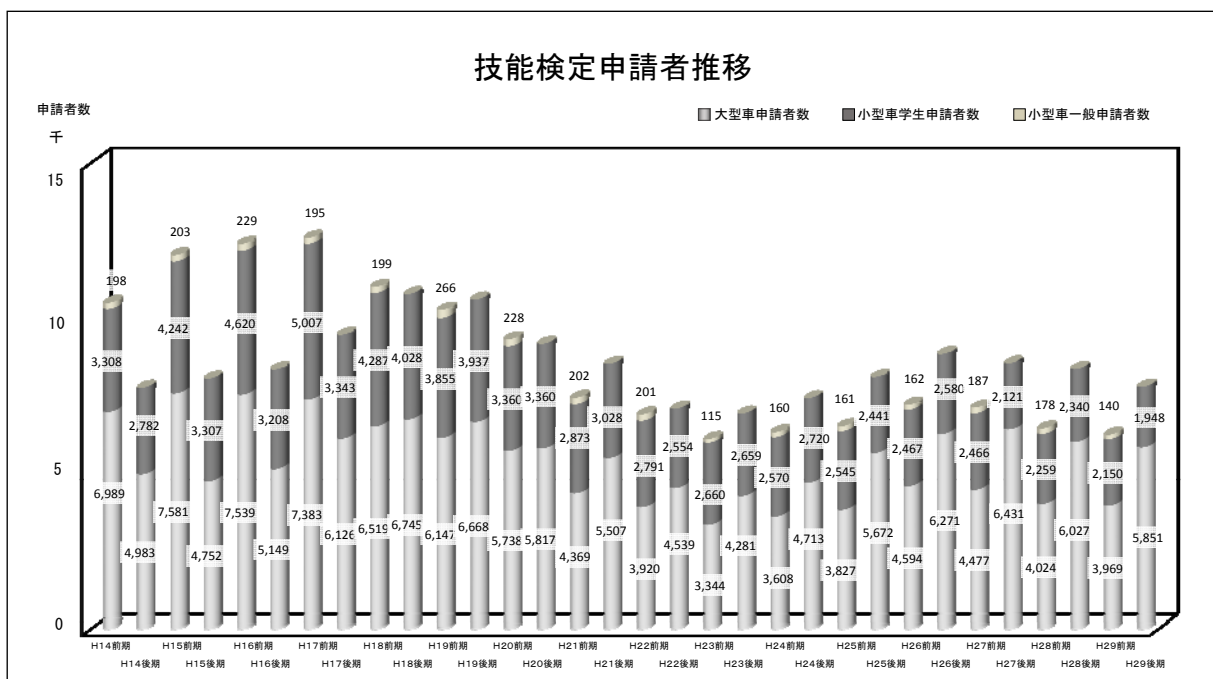
自動車市場の成熟化とともに自動車業界における査定制度の重要性がますます高まる中、当協会では技能検定試験受験申請者の受験機会拡大の観点から、平成8年度以降毎年、技能検定試験を2回実施し、申請者の利便性向上に努めてきた。

平成29年度においても6月に前期、12月に後期と年2回の技能検定試験を実施し、査定制度普及に努めた。

前期並びに後期の技能検定結果は、下表の通りであった。

	小型			大型	合計	前年	対前年比
	前期	後期	計	前期のみ			
申請者数	6,119名	7,799名	13,918名	140名	14,058名	14,828名	94.8%
(内学生)	(2,150)	(1,948)	(4,098)	(—)	(4,098)	(4,599)	89.1
受験者数	5,805	7,418	13,223	137	13,360	14,127	94.6
(内学生)	(2,001)	(1,873)	(3,874)	(—)	(3,874)	(4,370)	88.6
合格者数	4,762	5,861	10,623	131	10,754	10,888	98.8
(内学生)	(1,540)	(1,437)	(2,977)	(—)	(2,977)	(3,246)	91.7
合格率	82.0%	79.0%	80.3%	95.6%	—	—	—

平成29年度の受験申請者総数は14,058名となり、前年の14,828名を770名(5.2%)下回った。



小型車の通年合格率は80.3%となり、昨年の76.8%を3.5%上回る結果となった。平成30年3月末現在の登録査定士は135,094名で前年の134,254名を840名上回った。また、査定業務実施店数は7,838社で前年の7,827社を11社上回った。

(2) 中古車市場に対応した査定基準の見直し及び円滑な定着・促進

現行の加減点基準について、昨年度作成した原案を基に問題点を抽出し再検討を行った。また、軽自動車の大型化・高額化が進み、IVクラスの車両と新車価格や修理費がほぼ変わらないものが多く見受けられるようになっているため、外板部品の修理費用を調査しクラス係数の検討・見直しを行った。これらの変更は、平成30年4月1日付で各支所を通じて査定業務実施店に連絡し登録査定士に周知徹底を図った。

(3) 適正査定のための査定士に対する研修および講習の充実

中古自動車査定士証の有効期間は3年と定められており、査定士証更新のための研修受講は登録を維持する条件となっている。この義務付け研修会は、平成29年度は全国各支所で455回実施され、33,545名が受講した。この中には実車を用いたの研修会が54回含まれており、1,245名が受講した。

また、「写真で行う机上査定」の教材を使用して査定士証更新時の技能向上研修と併せて「特別講習」として積極的に研修した。

義務付け研修会以外に各支所単位では、支所が主催する研修会や販売店からの依頼による任意研修会を実施しており、その回数及び受講者は1,234回、15,410名となっている。最近では事故車(修復歴車)の見分け方のニーズが増加しているが、基本的な「車両の点検手順」あるいは「車両状態の表記方法」についての研修を要望したところもあるなど、実車を用いた研修が1,234回中1,038回と実車中心となっている。

(4) 業界が実施する中古自動車査定士技能コンテスト等への積極的協力

例年ホンダ自動車販売店協会並びに本田技研工業(株)では所属査定士の技能と知識を競い合うことを目的として全国コンテストを実施しており、当協会では予選段階からこれに積極的に協力した。都道府県レベルの予選会では、インターネットによる試験が実施されたが、当協会はその問題作りに協力し、ブロックレベルの地区大会並びに全国大会においても、学科試験問題の作成、実車査定の車種選定、正解作成、採点等において協力した。

また、スズキ(株)では今年度も代理店社員の査定技術向上の一環として、机上査

定試験が行われ、全国で代理店 85 社、5,492 名が受験した。当協会では、机上査定問題の作成及び採点でスズキ(株)に協力した。更にスズキ(株)では修復歴と外板の状態を正しく判断できる営業担当者にスズキ独自の査定士資格を付与するため、「スズキ認定査定士技能検定」を実施していることから、当協会では受験者の教育、試験車両の事前査定及び試験での協力を行った。

また、日産自動車工業(株)及び三菱自動車工業(株)からは、社員の査定技術向上の一環として「査定スキルアップ講習」の開催依頼があり、適宜、講習を行った。この講習は 2 コースあり初級は座学による査定の概要、中級は実車を使用した修復歴発見、痕跡の解説を行うもので、販売店査定士の査定技能向上に協力した。

(5) 一般社団法人日本中古自動車販売協会連合会への研修協力

平成 23 年度より一般社団法人日本中古自動車販売協会連合会では会員の知識・技能の向上の一環として「中古自動車販売士制度」を実施しており、その教育の中で当協会に修復歴車を含めた車両品質評価の研修依頼があり、平成 29 年度においては、全国で 495 名に研修を行った。

(6) 査定士のための各種研修用教材の開発

査定協会の教材には、大型車研修用教材についての要望が多く寄せられていたため、新たに研修用教材として『大型車の査定』を作成し、平成 30 年 4 月 2 日に販売を開始する。また、初級査定士向けの研修教材『初めての査定』を大幅にリニューアルし、平成 29 年 8 月に販売を開始した。

(7) 一般消費者への査定制度 P R

平成 29 年度は、当協会の業務内容については、ホームページの充実を図り広報する他、一般消費者に広く査定協会を広報するため、拡販グッズ（ミニミニパスケース）の作成配布を行い、さらなる P R に努めた。

(8) 海外中古自動車事情視察団の派遣

平成 29 年 8 月 19 日～8 月 25 日の日程で、タンザニア及び UAE へ中古車流通視察を当協会の役・職員及び関係事業者等で行った。

タンザニアでは、在タンザニア日本大使館及び自動車販売店を訪問し査定協会の P R を行うとともに「イエローブック」の国際版の発刊に係る紹介を行った。UAE では Dubai Auto Zone (旧 DUCAMZ) を訪問し、中古車の情報及び意見の交換を行った。

2. 中古車関連情報の適切迅速な提供

(1) 中古車価格情報内容の充実

平成29年度は中古車市場の変動が激しく、市場の変動が読み難い複雑な価格の動きとなった。こうした市場実態の把握が難しい局面が続いている状況の中、ガイドブック作成にあたり「中古車販売実績」「市場実態調査」「オークション情報」等幅広い情報を積極的に取り入れ、掲載価格が市場実勢と乖離することがないように努め、マーケットの状況を迅速にガイドブックの価格設定に反映した。

(2) 中古車ガイドブック発行方法について

販売店の統廃合、価格情報誌の増加やインターネットの普及などにより、当協会が発行する中古車価格ガイドブックの販売部数減少傾向が続いていることから、今後も購読者の利便を更に向上させるよう JAAI-Net などと連携した価格情報提供など拡販方法の検討を進めている。

また、拡販策として中古車ガイドブック、「シルバークック」と「イエローブック」を新規査定業務実施店に3ヵ月間無償配布するとともにガイドブックを幅広くPRするようシルバークックの一部掲載内容を「デジタルブック」として査定協会ホームページに掲載し閲覧できるようにしている。

(3) カーチェック・シート Web 版の活用及び普及

平成23年8月に始動した査定総合支援システム「カーチェックス」だが、現在、5メーカーがメーカー主導でほぼ全国の販社で導入し、基幹システム連動を果たしている。更に平成30年にはもう1メーカーが基幹システム連動を予定している。常に販社やメーカーの意見をシステムに反映しアップグレードを図っており導入は増えている。現在もメーカーに対し様々な提案をしているが、今後も現場の意見を聞きながら使用者の利便性を向上させるために開発を続けていく。

(4) 査定参考文献について

「2017年版の査定ガイド」

各メーカーより新型車が相次ぎ発売されたが、車種やグレードを特定するために型式指定番号と類別区分番号を手がかりとした情報を纏めて、すべての車種を漏れなく収載した。

また、仕様・装備品等も年々増加しており情報内容が複雑化したことから購読者の関心の高い装備品欄をより判り易く纏め、購読者の利便性の向上を図った。輸入車についても国産車同様に情報内容の充実に努めた。

(5) JAAI-Netにて提供する情報内容の充実及び利用会員増加対策の強化

JAAI-Netによる車種諸元情報・中古車価格情報の提供については、カーチェックの車両情報にも使用することから、内容の充実を図るため、車種データの精査を行い、また装備品の種類を増やした。

自動車メーカー、自動車関係団体、損害保険会社等に対して積極的にJAAI-Netの利用を呼びかけた結果、前年に引き続き自動車メーカー1社、関係団体1団体に車種データを損害保険会社1社へは価格情報データを提供することができた。

JAAI-Net会員数は平成29年度末で460企業、1,399IDとなった。

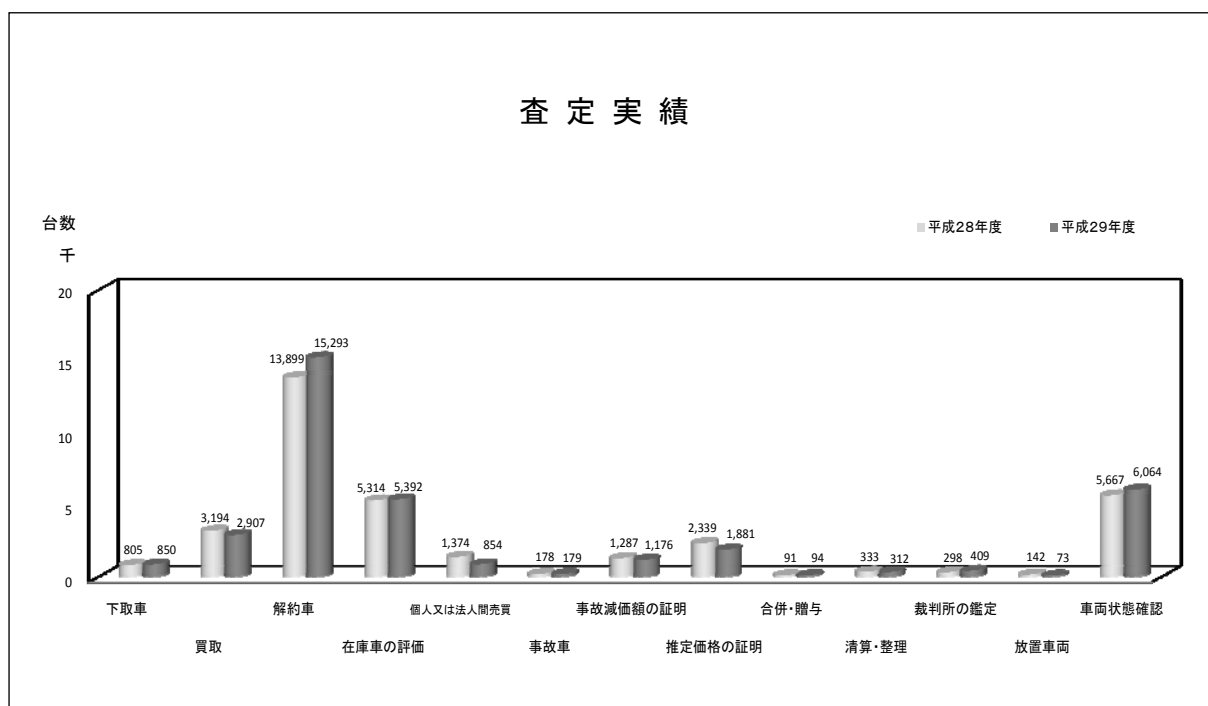
3. 査定協会職員による査定及び検査業務の適正な実施

(1) 査定業務の適正な実施

平成29年度の査定実績は、35,484台となり、前年比101.6%となった。

依頼目的別の集計では、「下取車」は850台で前年比105.6%、「買取」については2,907台で前年比91.0%であった。

依頼先区分別に見ると、「販売店」からの査定依頼が11,762台で前年比96.7%、専門店は前年比104.4%、一般ユーザーは前年比103.4%となった。



(2) 車両状態証明事業（V-CON）の積極的な実施

当協会では、平成29年度50支所で車両状態証明事業を実施し、検査台数では99,339台（対前年比121.3%）となり、平成20年度より累計で総検査台数が60万台（603,796台）を突破した。

また、認定検査員の育成では93名が合格し、累計合格者は1,341名となった。認定検査員制度は販売店における検査の内製化を促進し、検査費用のコストダウンと消費者からの中古自動車品質に対する信頼度向上の双方に貢献するため、今後も積極的に実施する。

車両状態証明書は、消費者に対して車両状態を的確に伝えることにより、取引の信頼性を向上させることを目的としており、この業務を当協会が実施することにより、中古車業界からの信頼向上に努めている。

(3) 中古車品質証明及び修復歴車判定業務の積極的な実施

当協会では、中古自動車の価格評価以外に、中古車取引において重要なファクターである修復歴車(事故車、事故歴車)か否かの証明を求められることも多く、そのようなケースでは「車両状態確認証明書」を発行して対応している。この「車両状態確認証明書」による証明業務は、平成13年度から実施しているが、毎年依頼台数が増加しており、社会のニーズにあった業務として確立されてきている。平成29年度においては、全国で6,064台（前年実績5,667台、前年比107.0%）の依頼があった。

(4) 商品中古自動車確認証明業務の適正な実施

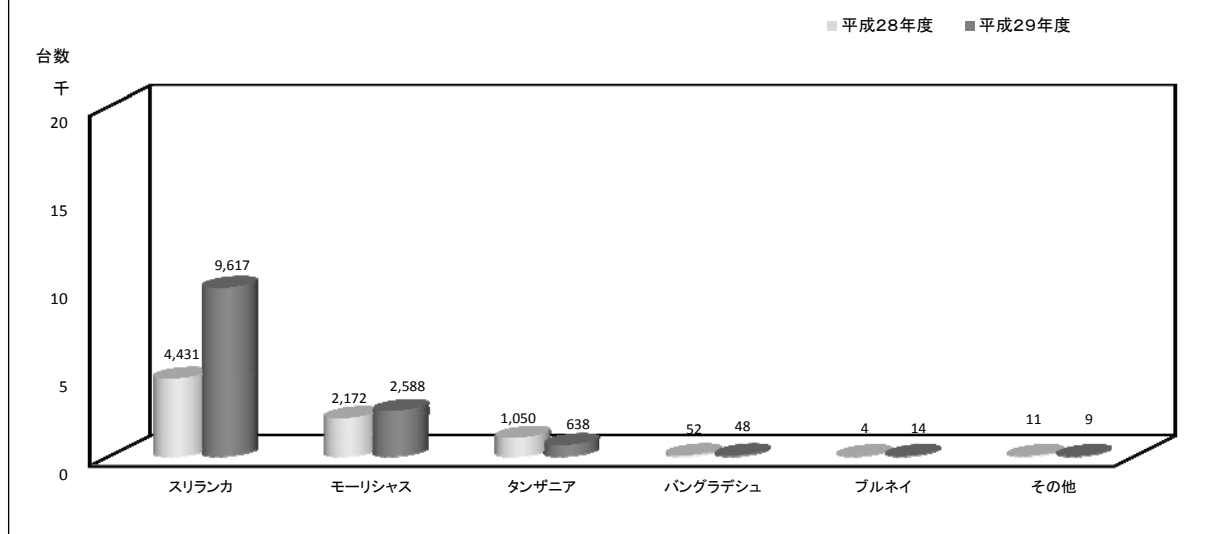
昭和61年度から実施している当業務は、長引く金利水準の低迷と経営環境の厳しい中、経費節減の観点から自動車販売事業者に浸透しており、平成29年度は169,174台（前年158,833台、前年比106.5%）の申請であった。

なお、全国の自動車販売店に還付された商品中古自動車の自動車税減免金額は、約15億1千7百万円となっている。

(5) オークション出品車両及び車両評価の適正な検査の実施

当協会では、オークション会場等から出品車両あるいは展示車両の検査業務を依頼されており、厳正な姿勢で検査を実施している。平成29年度は、新車販売台数の低迷の中ではあるが、69,165台（前年比89.6%）であった。

輸出検査実績



(6) 中古車輸出事業の海外へのPRと信頼される中古車輸出検査の実施

平成29年度の輸出検査台数は12,914台（前年比167.3%）であった。

その内、スリランカの検査台数は9,617台（前年比217.0%）、モーリシャスは2,588台（前年比119.2%）、タンザニアについては638台（前年比60.8%）となった。

なお、タンザニア向け輸出検査は入札に落選し平成30年2月28日をもって終了した。

4. その他

(1) 協会内システムの充実

平成28年4月に協会版カーチェックをリリースし、操作性等について支所からの意見・要望等を収集しディーラー版カーチェックへフィードバックを行い、ディーラーへのシステムの定着を、今後も継続していく。また、査定証発行システム・経理システムとも連動し各支所の利便性の向上・業務効率化を図った。

平成28年7月に行った第7回中古自動車査定士技能コンテスト全国大会採点のため、採点点数集計システム「集マッハ」を開発したが、支所大会で採点集計を行えるようにも改良した。更に報告書作成・賞状印刷等の機能も搭載した。

(2) 協会職員の人材教育（経理担当者研修、査定・検査職員研修等）

① 査定長・検査長並びに担当者会議の開催

平成30年2月20日、21日の2日間に亘り全国査定長・検査長並びに担当者会議を開催した。主たる内容は、車両状態証明事業（V-CON）検査員管理システム仕様変更、モーリシャス向け輸出検査基準の変更点、証明書発行システムとカーチェックスとの車両図連動について、コンテスト大会結果集計システムの開発、研修用教材等について説明を行った。また、中古自動車査定基準〔Ⅰ〕と〔Ⅱ〕における加減点基準変更点の説明を行い、その後、出席者をブロックごとに分けグループディスカッションを行った。

② 職員研修会の開催

平成29年10月31日、11月1日の2日間に亘り全国査定職員研修会を開催した。

主たる内容は、外部講師を招いての講演（日産自動車『電動化、知能化の取り組み』）を受講し最新技術の知識習得を図った。また、東京モーターショーを見学し、新型モデルの構造や装備品等を見学することにより通常業務に役立つ知識の習得を図った。

③ 経理担当者研修会の開催

公益目的支出計画の着実な遂行と新々会計基準に基づいた適正、的確な経理処理を行うためと、新経理システムを理解するため、平成30年2月6日に集合研修を実施した。また、より理解を深めるために平成29年7月から10月にかけてブロック毎の研修会を実施した。

(3) 諸会議の効率的な開催

諸会議の開催を効率的・効果的に進め経費及び時間の節減に努めた。

(4) 業務の効率的な実施による諸経費の削減

業務全般に亘って効率的な遂行を目指し、経費及び時間の節減に努めた。

(5) 関係諸官庁並びに自動車関係団体との緊密な連携と情報交換の実施

関係諸官庁並びに関係団体との連携を密にして、指導と協力を仰ぎ、情報の交換、資料の収集、社会経済情勢の把握に努め、事業の円滑な推進を図った。

(6) 個人情報保護法等法令順守への取組み

平成17年より当協会は個人情報保護法に対応するため、「基本方針」、「保護規程」、「情報セキュリティ実施要領」を定めているが、これまで以上に査定士技能検定試験、査定士管理、個別査定等の業務ごとに個人情報を尊重して厳正に業務に取り組むよう徹底に努めている。

今年度も一般財団法人全日本情報学習振興会が主催する個人情報保護士認定試験を希望者が受験し5名が合格した。在籍取得者数は本部・支所含め28名となった。

第52期に開催した主な会議、講習会等

A. 理事会

第170回理事会（平成29年6月5日） 於「東海大学校友会館」

議 題

- (1) 平成28年度(第51期) 事業報告書(案) について
- (2) 平成28年度(第51期) 計算書類等(案) について
- (3) 事業報告書(案)・計算書類等(案) について監事からの監査報告
- (4) 公益目的支出計画実施報告書(案) について
- (5) 公益目的支出計画実施報告書(案) について監事からの監査報告
- (6) 評議員会議題の追加
- (7) その他(理事・評議員・監事候補の紹介)

第171回理事会（平成30年3月23日） 於「東海大学校友会館」

議 題

- (1) 平成30年度(第53期) 事業計画書(案) の承認について
- (2) 平成30年度(第53期) 収支予算書(案) の承認について
- (3) 定款(事業)第4条の変更について
- (4) 第140回評議員会の開催日程について
- (5) 第172回・第173回理事会の開催日程について
- (6) その他

B. 評議員会

第139回評議員会（平成29年6月26日） 於「東海大学校友会館」

議 題

- (1) 平成28年度(第51期) 事業報告書について
- (2) 平成28年度(第51期) 計算書類等(案) について
- (3) 公益目的支出計画実施報告書(案) について
- (4) 評議員の選任について
- (5) 理事・監事の選任について
- (6) その他

C. 技能検定専門委員会

第130回技能検定専門委員会（平成29年5月17日） 於「メルパルク東京」
議 題

- (1) 第63回中古自動車査定士技能検定の試験問題について
- (2) その他

第131回技能検定専門委員会（平成29年7月13日） 於「メルパルク東京」
議 題

- (1) 第63回中古自動車査定士技能検定試験の合否について
- (2) その他

第132回技能検定専門委員会（平成29年11月6日） 於「メルパルク東京」
議 題

- (1) 第64回中古自動車査定士技能検定の試験問題について
- (2) その他

第133回技能検定専門委員会（平成30年1月15日） 於「メルパルク東京」
議 題

- (1) 第64回中古自動車査定士技能検定試験の合否について
- (2) その他

D. 査定基準価格専門委員会

第578回	平成29年	4月14日	於「東郷記念館」
第579回	平成29年	5月19日	於「東郷記念館」
第580回	平成29年	6月16日	於「東郷記念館」
第581回	平成29年	7月14日	於「東郷記念館」
第582回	平成29年	9月15日	於「東郷記念館」
第583回	平成29年	10月20日	於「東郷記念館」
第584回	平成29年	11月17日	於「東郷記念館」
第585回	平成29年	12月15日	於「東郷記念館」
第586回	平成30年	1月19日	於「東郷記念館」
第587回	平成30年	2月16日	於「東郷記念館」
第588回	平成30年	3月16日	於「東郷記念館」

E. 輸出検査特別委員会

平成29年12月1日

於「品川プリンスホテル」

F. 査定士技能検定試験

第63回 平成29年 6月18日 小型 受験者数 5,805名

平成29年 6月21日 大型 受験者数 137名

第64回 平成29年12月13日 小型 受験者数 7,418名

G. 全国支所長会議

平成29年6月6日 於「東海大学校友会館」

議 題

- (1) 平成28年度(第51期) 事業報告について
- (2) 平成28年度(第51期) 計算書類等について
- (3) その他

平成30年2月27日 於「東海大学校友会館」

議 題

- (1) 平成30年度(第53期) 事業計画(案) について
- (2) 平成30年度(第53期) 予算の考え方について
- (3) その他

H. 運営企画委員会

第275回運営企画委員会（平成29年6月5日） 於「東海大学校友会館」

議 題

- (1) 平成28年度(第51期) 事業報告書(案) について
- (2) 平成28年度(第51期) 計算書類等(案) について
- (3) 公益目的支出計画実施報告書(案) について
- (4) 平成30年度中古自動車査定士技能検定試験実施日程について
- (5) その他

第276回運営企画委員会（平成29年12月1日） 於「品川プリンスホテル」

議 題

- (1) 最近の状況について

- (2) 平成30年度(第53期) 事業計画及び予算編成の考え方(案) について
- (3) 各分科会の審議状況・予定について
- (4) その他

第277回運営企画委員会 (平成30年3月23日) 於「東海大学校友会館」
議 題

- (1) 平成30年度(第53期) 収支予算書(案) について
- (2) 平成29年度各分科会の活動報告について
- (3) 平成30年度各分科会の活動計画について
- (4) その他

I. 全国査定長・検査長並びに担当者会議

平成30年2月20日～21日 於「メルパルク東京」
議 題

【第1日目】 出席者72名

- (1) 各分科会からの報告報告

【第2日目】 出席者72名

- (1) 査定実務分科会からの報告
- (2) 意見交換会

J. 運営企画部会

平成29年 6月 5日 於「東海大学校友会館」
平成29年 9月19日 於「品川プリンスホテル」
平成29年12月 1日 於「品川プリンスホテル」
平成30年 3月23日 於「東海大学校友会館」

K. 査定実務分科会

平成29年 4月11日～12日 (第1回) 於「本部会議室」
平成29年 6月29日～30日 (第2回) 於「本部会議室」
平成29年 8月23日～24日 (第3回) 於「本部会議室」
平成29年 9月20日～21日 (第4回) 於「本部会議室・航空会館」
平成29年10月25日～26日 (第5回) 於「群馬」
平成30年 1月17日～18日 (第6回) 於「本部会議室」
平成30年 2月 7日～ 8日 (第7回) 於「本部会議室」

L. 教材分科会

平成29年 4月25日～26日	(第1回)	於「本部会議室」
平成29年 6月19日～20日	(第2回)	於「本部会議室」
平成29年 8月 7日～ 8日	(第3回)	於「本部会議室」
平成29年 9月 4日～ 5日	(第4回)	於「本部会議室」
平成29年11月15日～16日	(第5回)	於「本部会議室」
平成30年 1月30日～31日	(第6回)	於「本部会議室」

M. 査定基準価格分科会

平成29年 4月 3日～ 4日	(第1回)	於「本部会議室」
平成29年 6月 1日～ 2日	(第2回)	於「本部会議室」
平成29年 7月 3日～ 4日	(第3回)	於「本部会議室」
平成29年 8月 1日～ 2日	(第4回)	於「本部会議室」
平成29年 8月31日～ 9月1日	(第5回)	於「本部会議室」
平成29年10月 2日～ 3日	(第6回)	於「本部会議室」
平成29年11月 1日～ 2日	(第7回)	於「本部会議室」
平成29年11月30日～12月1日	(第8回)	於「本部会議室」
平成30年 2月 1日～ 2日	(第9回)	於「本部会議室」
平成30年 3月 1日～ 2日	(第10回)	於「本部会議室」

N. 輸出検査実務分科会

平成29年11月13日	(第1回)	於「本部会議室」
-------------	-------	----------

O. V-COON推進分科会

平成29年 4月 6日～ 7日	(第1回)	於「本部会議室」
平成29年 7月24日～25日	(第2回)	於「本部会議室」
平成29年10月26日～27日	(第3回)	於「広島」
平成29年12月14日～15日	(第4回)	於「本部会議室」
平成30年 1月25日～26日	(第5回)	於「本部会議室」

P. システム分科会

平成29年 4月18日～19日	(第1回)	於「本部会議室」
平成29年 6月27日～28日	(第2回)	於「本部会議室」

平成29年 9月28日～29日 (第3回) 於「本部会議室」
平成29年11月20日～21日 (第4回) 於「本部会議室」
平成30年 3月14日～15日 (第5回) 於「本部会議室」

Q. 職員の研修会

(1) 全国査定職員研修会

平成29年10月31日～11月1日

1日目 参加者62名 於「メルパルク東京」
2日目 参加者49名 於「東京ビッグサイト」

(2) 全国経理担当者研修会

平成30年2月6日 参加者67名 於「東京グランドホテル」

(3) V-CON本部研修・資格試験

平成29年 9月 5日 参加者 8名 於「航空会館」
平成29年12月19日 参加者 3名 於「本部会議室」
平成30年 3月 9日 参加者 1名 於「本部会議室」

(4) 輸出中古自動車検査員資格研修・試験

平成29年11月 2日 参加者 3名 於「航空会館」

R. 業務日誌作成・実施・検討会議

平成30年 2月27日～28日 於「東海大学校友会館・本部会議室」

S. コンテスト全国大会関連

第8回中古自動車査定士技能コンテスト全国大会 正副委員長会議
平成30年 2月 5日 参加者13名 於「メルパルク東京」

T. その他

第52期に作成した主な出版物
『査定ガイド』 (2017年版)